

## 【藤枝市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和3年1月の中央教育審議会による答申では、「令和の日本型学校教育」として「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることを求められており、これにICTは必要不可欠とされている。

本市はこれまでも、次代を担う子どもたちが社会の変化に対応し、豊かな人生を切り拓けるよう、ICT教育や英語教育、特別支援教育などを先駆的に推進してきた。今後も1人1台端末や高速大容量通信ネットワークをはじめとしたICT環境の整備を進めることで、GIGAスクール構想が目指す「多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育」を実現し、児童生徒の「主体的・協働的な学び」や「誰一人取り残さない学び」につなげるものである。

これは、第2期藤枝市教育振興基本計画の目標に掲げる「個が輝き、未来を切り拓く力を育む学びの充実」や「互いを認め、思いやり、多様な主体が連携・協働する学びの充実」につながるものである。

#### 2 GIGA第1期の総括

##### (1) 1人1台端末の導入

GIGAスクール構想に基づき、令和2年度に市内全市立小中学校に11,033台の1人1台端末を整備した。端末には授業支援ソフトをはじめとした各種支援ソフトをインストールし、端末の効果的な利用を促した。

##### (2) 学習用高速大容量通信ネットワークの整備

令和2年度に、学習系ネットワーク環境を構築し、各校の普通教室を中心にWi-Fiによるネットワーク接続環境を整えた。また、インターネット通信環境を改善するため、令和5年度にはインターネット回線を更新し、高速通信を可能とした。

##### (3) 研修の実施やフォローアップ体制の構築

端末活用に係る教員向け研修や、ICT支援員による教員への個別アプローチにより、端末の積極的な利用が進み、教育の質向上に寄与した。

##### (4) 課題

端末の利用機会の増加に比例し1人1台端末の故障台数が増加しているため、端末更新に際しては十分な台数の予備機を調達することが必要である。

また、今後MEXCBT（メクビット）やデジタル教科書の利用促進に伴う通信量の増大が想定されるため、より大容量通信に対応した環境の整備が必要である。

### 3 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第1期では、1人1台端末を「学びの道具」として日常的に活用することに力を注いできた結果、1人1台端末はもはや児童生徒にとって必要不可欠な学びの道具となっている。

GIGA 第2期においては、端末の整備と更新を計画的に行い、全児童生徒が継続的に1人1台の端末を使用できる環境を構築する。また、端末の活用を促すために通信環境を充実させるとともに、端末の利用にあっては児童生徒の「主体的・協働的な学び」や「誰一人取り残さない学び」につながる、効果的な教育アプリを導入する。

#### (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

デジタル教科書をはじめ、文部科学省の「MEXCBT」や1人1台端末にインストールした教育アプリ等を積極的に活用し、また調べ学習などへの端末利用により、個別最適な学習の実現につなげる。併せて、協働学習を支援する機能を用い、全員参加型の学びを推進する。

#### (2) 誰一人取り残さない学びを保障する環境の構築

様々な困難を抱える児童生徒への支援に、1人1台端末をはじめとしたICTを活用できるよう研究を進め、順次学びの環境を構築する。また、児童生徒の心身の状況把握や教育相談を行う「心の健康診断」についても研究を進める。

#### (3) 教員のスキル向上と支援

1人1台端末にインストールしたアプリの活用をはじめ、教員のICT活用指導力向上に寄与するよう、学校へのICT支援員の配置を継続して行う。また、ICT活用に係る研修や情報共有を行う。

#### (4) 端末の故障対応

端末の故障の有無に関わらず、児童生徒の学びを止めることの無いよう、故障報告からの対応を迅速に行う体制を構築し、併せて代替機を十分確保する。さらに、クラウドを活用してデータを保存することで、端末が使えなくなった場合でも、予備機からすぐに学習を再開できる環境を整える。

#### (5) 通信環境の充実

新たに導入する1人1台端末の通信環境をLTEにし、端末の使用場所にとらわれず高速通信が可能となる環境を整える。